

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	令和6年度 第2回富田林市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和6年8月19日（水）15：00～17：00
開 催 場 所	市役所3階 庁議室
出 席 委 員	・井上委員（会長）・恒川委員（副会長）・峯委員・永田委員・山下委員 ・大道委員・森委員・廣崎委員・岩井委員・松田委員・北谷委員・辻委員 (計12名)
欠 席 委 員	・福田委員・吉田委員・大熊委員・竹田委員・岡野委員・北代委員
事 務 局	こども未来部：寺元部長 こども政策課：小島次長兼課長、大堀課長代理兼政策係長、 廣谷主幹兼給付支援係長、今井副主任 こども育成課：辻野次長兼課長、森参事兼課長代理 子育て応援課：南課長、谷田課長代理 児童館：和田館長 教育指導室：山口参事兼学事係長 (株)ぎょうせい：今中氏、安井（愛）氏
配 布 資 料	資料1－1 教育・保育の量の見込みと確保方策（提供量）に対する実績など 1－2 教育・保育の利用状況 1－3 教育・保育の量の見込みと確保方策（提供量）に対する実績 資料2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（提供量） に対する実績など 資料3 その他子育て支援事業等の利用状況 資料4 富田林市子どもの貧困対策計画の進捗状況 資料5 第3期富田林市子ども・子育て支援事業計画のニーズ量の推 計結果と目標量の設定について 参考資料1 第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画達成状況調査報告書 参考資料2 富田林市こどもの生活に関する実態調査の報告について 参考資料3 『富田林市（仮称）こども・子育てプラザ』整備に伴う調査票につ いて 参考資料4 2025 大阪・関西万博会場こども無料招待事業について
会 議 次 第	1. 開会 2. こども未来部長あいさつ 3. 委員および事務局自己紹介 4. 案件 (1) 第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について (2) 第3期富田林市子ども・子育て支援事業計画のニーズ量の推計結果 と目標量の設定について 5. その他

	(1) 第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画 達成状況調査報告書 (2) 富田林市こどもの生活に関する実態調査の報告について (3) 「富田林市（仮称）こども・子育てプラザ」整備に伴う調査票について (4) 2025大阪・関西万博会場こども無料招待事業について 6. 閉会
公開／非公開	公開
傍 聴 者	4名
そ の 他	なし

【議事要旨】

事務局	1. 開会 (事務局) 2. 委員および事務局自己紹介 (各委員および事務局) ・配布資料確認 3. 会議の公開および会議記録の作成について ・会議は、引き続き原則公開とする。 ・会議記録についても、引き続き要旨記録として作成し、市ウェブサイト等で公開する。 4. 案件 (1) 第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について ●資料1－1「教育・保育の量の見込みと確保方策（提供量）に対する実績など」、資料1－2「教育・保育利用状況」、資料1－3「教育・保育の量の見込みと確保方策（提供量）に対する実績」、資料2「地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（提供量）に対する実績など」、資料3「その他子育て支援事業等の利用状況」、資料4「富田林市子どもの貧困対策計画の進捗状況」を用いて説明 (説明省略)
会長	◇事務局から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見を伺う。 ◇何かご意見、ご質問はないか。（なしのため、本案件の審議は終了）
事務局	(2) 第3期富田林市子ども・子育て支援事業計画のニーズ量の推計結果と目標量の設定について ●資料5「第3期富田林市子ども・子育て支援事業計画」ニーズ量の推計結果と目標量の設定について」を用いて説明。 (説明省略)
会長 委員	◇事務局から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見を伺う。 ◇学童クラブの見込み量を増やしている理由は。また、現状施設としての許容状態は。

事務局	●令和6年度の実績を勘案し、待機児童が出ないように、利用希望される方を全員受け入れできるような数値とした。施設としてのキャパシティは、問題ないと考えている。
委員	◇ファミリーサポートのことについて。同じ方が継続して利用しているのか、会員数や実績、内容はこういったものか。
事務局	●資料記載のファミリーサポートセンターの会員数は、依頼会員と援助会員を合わせた会員数。そのうち援助会員は70～80名で、依頼会員の方が多い。援助会員の新規の登録は少なく、マッチングが厳しい状況。援助会員は実績のある方が多い状況である。
委員	◇援助会員募集のアピールをもっと増やした方がいいのでは。また他の事業もある中で、今後も市としてどういう位置づけで実施していくのか。事故があってはいけないので、研修などのサポート体制は。
事務局	●援助会員募集については、市広報誌で発信をしているが、課題として受け止めている。
事務局	●本事業は平成6年から国の事業として始まり、今後も大切にしたい事業。本市ではファミリーサポートセンターの講習会、研修会の取り組みもしており、援助会員獲得に向けてPRをしていきたい。
委員	◇多言語家庭へのサポート、医療的ケア児の受け入れ状況は。また、ペアレントトレーニングの実施は平日だと思うが、プログラムによって横の繋がりもできると思うので、開催日を休日にも実施してはどうか。また、学童を長期休みの時に使うニーズはあると思う。ニーズに応じた確保策の検討をお願いしたい。
事務局	●医療的ケアを必要としている児童は現状市内保育所にはいないが、いつ申込みがあるか不明であり、その際の対応は市の責務と考えている。会計年度任用職員として訪問看護の看護師、保健師の雇用をしたいと考えている。教育委員会では医療的ケアを必要としている児童の対応をしており、看護・介護する方の休息についても相談中。
事務局	●ペアレントトレーニングは、委託業者による事業。開催日は職員の体制もあり、基本的に平日開催。休日開催については課題として受け止める。
事務局	●学童クラブについて、長期休みの利用ニーズは把握している。条例に合わせた職員を配置しているが長期休みでない平時で定員がいっぱいである。長期休みの時に利用者が増加すると対応が難しい。また学童の指導員とは常々打合せをしているが、重要視している指導員と児童との関係性について、4月から人間関係を形成している児童が長期休みのみの児童となることによって、児童や指導員の気持ちに変化が現れることも危惧をしている。ただニーズがあることも事実であるため、これからは課題として考えていく。
委員	◇日本人でも子育てに困っている。多言語家庭にはもっと支援が必要なのでは。
事務局	●多言語家庭については保育園への入所案件、入所検討の際の点数加点も日本人の方と差異はない。細かなところまで行き届いているかは心配だが、市役所のSNSでやさしい日本語での情報発信や、窓口に来られた際は翻訳機で対応

委員	などもしている。 ◇「こども誰でも通園制度」について、国の施策の方向を見る限り、「預けたいときに預けられる」のような制度であるように感じている。富田林市は受け入れ園と保護者、子どもとの面談もしていたり、利用時間も柔軟に考えてくれていたり、手厚くしてくれている。これからも続けてほしい。
事務局 会長	●令和8年の国の本格実施に向けて、対応していく。 ◇その他ご意見、ご質問はないか。（なしのため、本案件の審議は終了）
事務局	5. その他 ●参考資料1「第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画 達成状況調査報告書について」等を用いて説明。 （説明省略） ●参考資料2「富田林市こどもの生活に関する実態調査結果概要と課題」を用いて説明。 （説明省略）
事務局	●参考資料3『富田林市（仮称）こども・子育てプラザ』整備に伴う調査票について（御依頼）」を用いて説明。 （説明省略）
事務局	●参考資料4「2025 大阪・関西万博会場こども無料招待事業について」を用いて説明。 （説明省略） ※（ご意見、ご質問なしのため、各案件の報告は終了）
事務局	●次回会議は、11月開催予定。詳細な日程は追って案内をする。 6. 閉会